

会 議 録

| | |
|---------------|---|
| 会議の名称 | 西東京市介護保険運営協議会第4回会議 |
| 開催日時 | 平成29年5月11日（木曜日）午後1時00分から午後2時00分まで |
| 開催場所 | 田無庁舎4階第3委員会室 |
| 出席者 | <p>（委員）金子委員長、須加副委員長、赤司委員、浅野委員、石塚委員、伊藤委員、内田委員、梅田委員、江刺家委員、海老澤委員、小平委員、武田委員、平塚委員、平松委員、前川委員、松本委員</p> <p>（事務局）健康福祉部長、ささえあい・健康づくり担当部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長、他7人</p> |
| 議 題 | <p>（1）第3回会議録の確認</p> <p>（2）第7期計画策定のためのアンケート調査結果報告</p> <p>（3）その他</p> |
| 会議資料 の 名 称 | <p>（事前送付資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険運営協議会第3回会議 会議録（案） ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）策定のためのアンケート調査報告書（概要版） <p>（当日配布資料）</p> <p>介護 資料1 西東京市介護保険運営協議会委員名簿</p> <p>介護 資料2 西東京市高齢者保健福祉計画策定のための市民アンケート調査結果（変更箇所）</p> <p>介護 資料3 アンケート調査結果からみえた課題（速報版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）策定のためのアンケート調査報告書 |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会 議 内 容

1 開会

2 委嘱式

3 諮問

4 議題

(1) 第3回会議録の確認

○委員長：

内容について修正・変更はなしということで承認をいただいた。

○事務局：

承認をいただいたので、各情報公開コーナーでの閲覧の手続きをとる。

(2) 第7期計画策定のためのアンケート調査結果報告

○委員長：

議題(2) 第7期計画策定のためのアンケート調査結果報告について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

第7期計画策定のためのアンケート調査結果について報告(資料2、資料3)

○委員長：

質問、意見等あればご発言をお願いしたい。

○委員：

アンケート調査結果は想定範囲内で、我々が日常感じていること以上のものはないように思う。過去と比較して、今回の調査で特異な点、強調したい点があれば教えてほしい。

○事務局：

かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無(高齢者一般調査 問17)では、前回と比較して、かかりつけ医やかかりつけ歯科医が「いる」という回答に変化はみられなかったが、かかりつけ薬局が「ある」という回答は6.4ポイント増加している。地域包括支援センターの場所の認知(高齢者一般調査 問54付問)では、地域包括支援センターを「知っている」という回答は4.4ポイント増加、「知らない」という回答は5.5ポイント減少している。全体的な傾向として、情報の普及等の部分では進んでいる。

生きがいとして継続して行っていること、今後行いたいこと（高齢者一般調査 問 26、27）では、前回と比較すると、どちらも「家族・親族とのふれあい」という回答が増加している。自宅で家族と一緒に暮らしたいという傾向の変化が表れている。

○事務局：

資料3については、速報版ということでまとめている。前回比較も含め、今後の課題はより詳細に整理していきたいと考えている。

○委員長：

市内に薬局が増え、自宅の周辺にできれば、そこがかかりつけ薬局になるということがあれば、必然的な傾向だと思う。

また、家族とのつながりについても、例えば、若年層で西東京市から転出した方が、ある程度の年齢になり、西東京市に再転入し、もともと住んでいる両親などとの距離が近くなったということがあるのではないか。国勢調査の結果などで分かれば、アンケート調査結果の根拠、あるいはそれに基づいた今後の推測もできるのではないか。

○事務局：

国勢調査などでそういった項目があれば、整理してみたい。参考になるものがないか確認したい。

○委員：

「地域づくりの推進」では、地域の方の地域づくりに協力したい、役に立ちたいと思っている方の意識が非常に高いということが分かる。今後、地域包括ケアシステムを構築するにあたっては、協力して何かをつくるという地域の方の意識が高いということで、非常に希望がある。

地域包括支援センターの認知度については、前回と比較して増加しているようだが、知らないという方の方が半数近くとなっているが、今後も周知に励む必要がある。

○委員：

歯科医師会では、在宅訪問診療を市報などにも載せているが、在宅医療の取り組みの認知度（高齢者一般調査 問 18）では、訪問歯科診療の「名称も内容も知っている」や「名称は聞いたことがある」という方が5割に満たない。市民の方への周知方法が、今後の課題となる。

また、昨年度から在宅訪問歯科健診を実施している。口腔内の状況を把握することによって、介護予防や健康維持につながる。市民の方にはこのようなものも利用していただきたい。

○委員長：

歯のことは健康に直結する。うまく機能すれば、介護予防等にも非常に役立つのではない
か。

○委員：

歯科診療はケアプランの中に定期的に組み入れなければならないのか。また、健診は継続
して利用しなければならないのか。ケアマネジャー、ヘルパーや訪問看護師に聞いてもわか
らない。

○委員：

医療と介護は別の枠になるので、ケアプランには組み入れる必要はない。

健診を受ける中で、物が噛めない、入れ歯が壊れた、歯が痛いなどの主訴があれば、訪問
して歯科診療を行う。健診は、在宅の場合、歯科医師会を通じて申し込めば、歯科医師が
無料で訪問する。その後、治療の可否を判断し、治療を行っていく。治癒後のメンテナンス
については、介護保険のサービスとなり、月1回程度の口腔内のチェックなどをケアプラン
に組み入れることができる。

(3) その他

○委員長：

議題(3)「その他」について、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：

今回の日程は、6月22日の木曜日の午後1時にて行う。場所は、今回と同じく、田無庁舎
4階の第3委員会室を予定している。

○委員長：

以上で第4回介護保険運営協議会を終了する。

閉 会